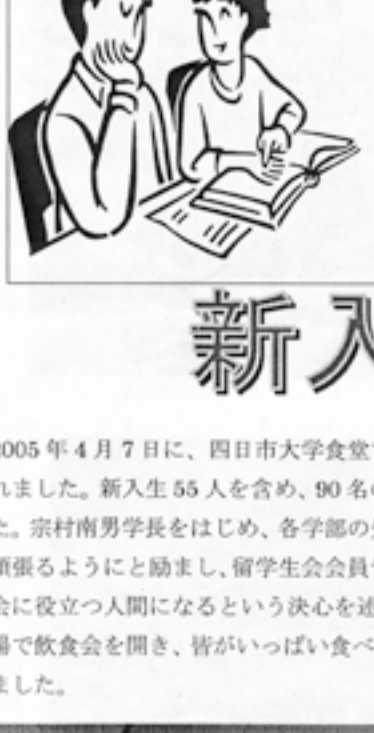


# 留学生新聞

みんな、こんにちは！留学生太郎です。



もう春です。緑の山々、高層ビルに覆われた都市、どちらとも桜のピンク色に染められる季節がやってきました。そして、2005年前期の授業が始まりました。

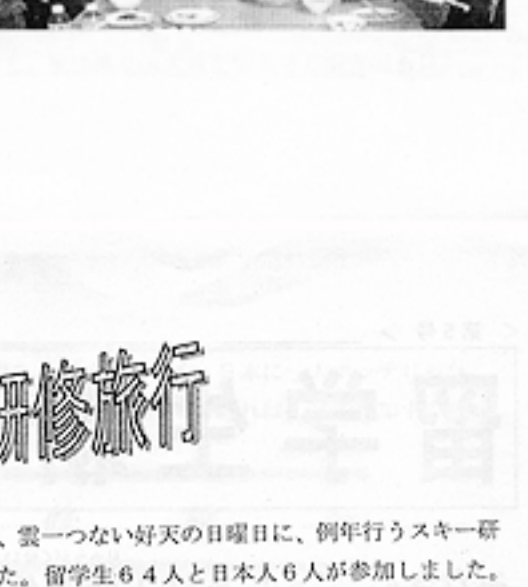
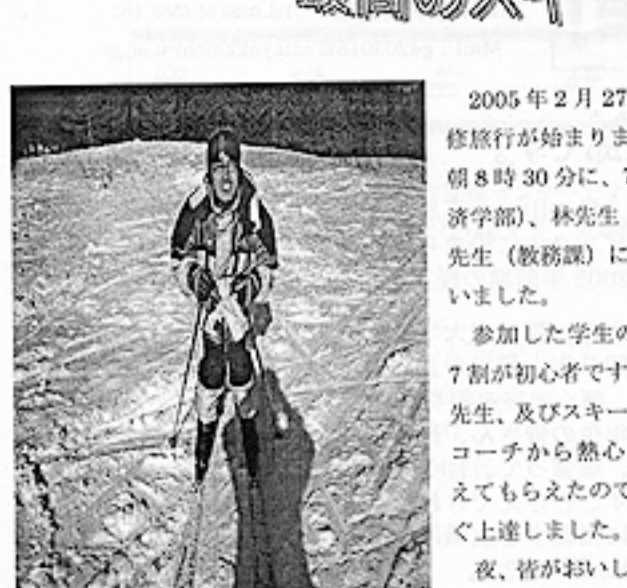
新入生の皆さん、四日市大学に入学して、おめでとうございます。四日市大学での良い環境のもとで、桜のように、咲いて、輝く未来を創りましょうね。

三年生、四年生の皆さん、進学、就職活動はうまく行っていますか。頑張って、自分の志を達成できれば、きっと大丈夫だと思います。本紙に掲載する就職に関するニュースがあなたのお役に立てれば幸いです。

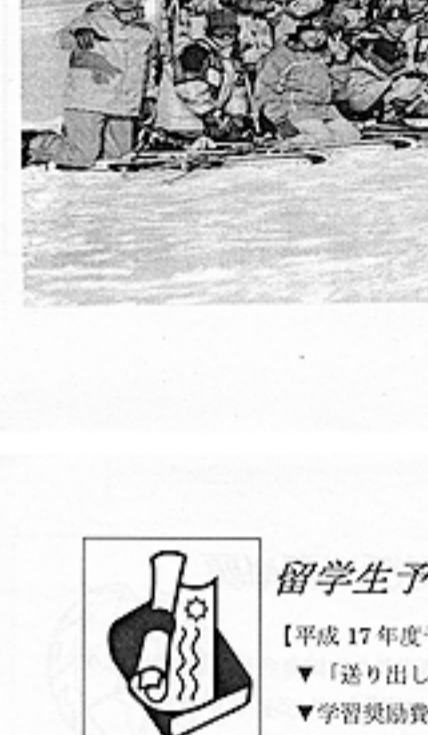
【編集部・留学生太郎=王誌、弓映剛】

## 新入生歓迎会

2005年4月7日に、四日市大学食堂で新入生歓迎会が行われました。新入生55人を含め、90名の留学生が参加しました。宗村南男学長をはじめ、各学部の先生方から皆がもつと頑張るようにと励まし、留学生会会員デキエツさんは将来社会に役立つ人間になるという決心を述べました。その後、会場で飲食会を開き、皆がいっぱい食べて、いっぱい話していました。

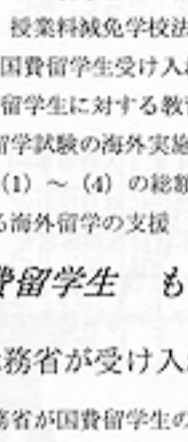
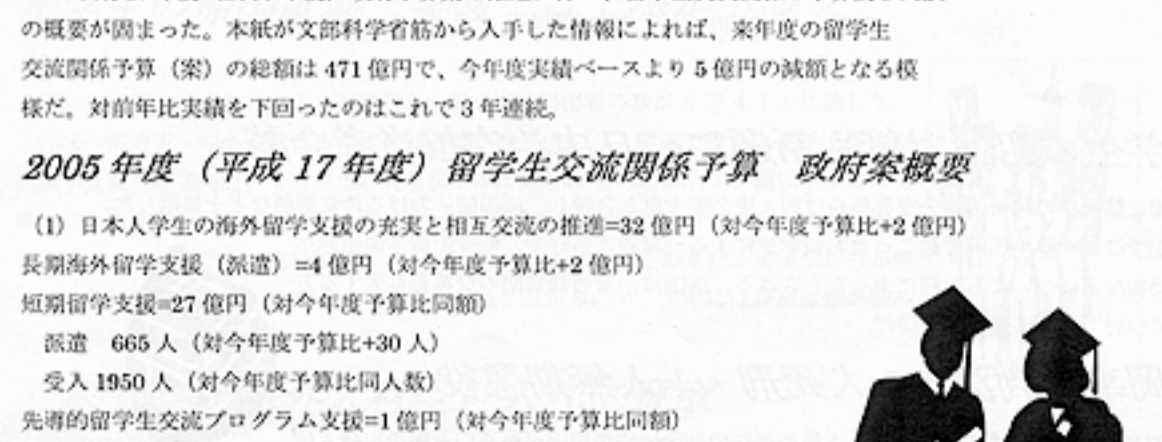
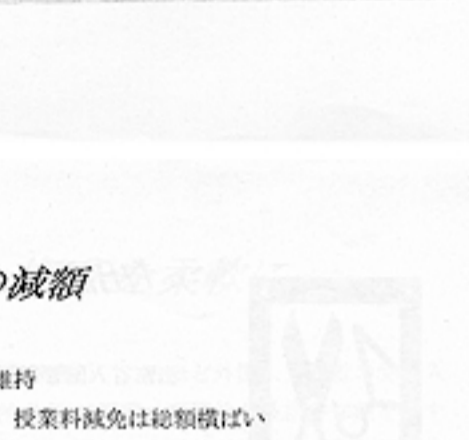


## 最高のスキー研修旅行



2005年2月27日、雲一つない好天の日曜日に、例年行うスキー研修旅行が始まりました。留学生64人と日本人6人が参加しました。朝8時30分に、70人が2台のバスに分かれて、岩崎 祐子先生(経済学部)、林先生(留学生支援センター)、尾崎先生(学生課)と大川先生(教務課)に引率してもらって、長野県の車山高原スキー場に向かいました。

参加した学生の中、7割が初心者ですが、先生、及びスキー場のコーチから熱心に教えてもらえたので、すぐ上達しました。夜、皆がおいしい料理を食べたおかげで、お風呂に入ったり、カラオケで歌ったり、忙しい留学生活から離れ、勉強とアルバイトのことを忘れて、リラックスができました。3日間を一瞬のように過ごされれば、皆はもし来年また開催されれば、必ず参加すると言いました。



### 留学生予算、3年連続の減額

- ▼平成17年度予算のポイント
- ▼「送り出し奨励、受け入れ慎重」を維持
- ▼学習奨励費は日本語校生等を信奨、授業料減免は総額横ばい
- ▼国費留学生支援をさらに減額、受給人数は増やす
- ▼私学特別補助は減額の可能性も

平成17年度(2005年度)政府予算案の確定に伴い、留学生交流関係の予算及び内訳の概要が明らかになった。本紙が文部科学省筋から入手した情報によれば、来年度の留学生交流関係予算(案)の総額は471億円、今年度実績ベースより5億円減額となる模様だ。対前年比実績を下回ったのはこれで3年連続。

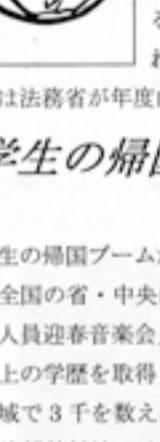
### 2005年度(平成17年度)留学生交流関係予算 政府案概要

- (1) 日本人学生の海外留学支援の充実と相互交流の推進=32億円(対今年度予算比+2億円)
- 長期海外留学支援(派遣)=4億円(対今年度予算比+2億円)
- 短期海外留学支援=27億円(対今年度予算比同額)
- 派遣 665人(対今年度予算比+30人)
- 受入 1950人(対今年度予算比同額)
- 先進的留学生交流プログラム支援=1億円(対今年度予算比同額)
- (2) 私費外国人留学生等への奨励=113億円(対今年度予算比+1億円)内訳?
- 学習奨励費=80億円(対今年度予算比+1億円)
- 留学生 1万1300人(対今年度予算比+200人)
- 就学生 600人(対今年度予算比+300人)
- 授業料減免学校法人援助=33億円(対今年度予算比同額)
- (3) 国費留学生受け入れの充実=229億円(対今年度予算比▼4億円)対象者 5263人(同+20人)
- (4) 留学生に対する教育・研究指導の充実等=98億円(対今年度予算比▼3億円)内訳不明(私学特別補助、日本留学試験の海外実施に伴う案件など)
- 上記(1)～(4)の総額=471億円(対今年度予算比▼5億円)(その他、特別給)奨学金貸付制度(有利子)による1～4の総額=17億円(対今年度予算比+5億円) □貸与人員1400人(同+400人)



### 国費留学生 もういらない?

～総務省が受け入れ抑制を勧告  
総務省が国費留学生の受け入れを抑制するよう、文部科学省など関係省庁に申し入れたことが明らかになった。一昨年「受け入れ10万人計画」が達成され、入管当局による不法残留留検などが強化される中、留学生政策も数より質の重視へと転換したことが背景にあるが、数の上では全体の10分の1程度に過ぎない国費留学生に対し、依然として留学生交流関係予算の48% (05年度政府予算案)がつかまれている現状に私立大学などから批判が強いことから、緊縮財政の観点も踏まえ見直しを求めたものとされる。同時に勧告は留学生の出身国別内訳についても「(現状は)中国と韓国に偏りすぎている」として多国籍化の必要性に言及している。

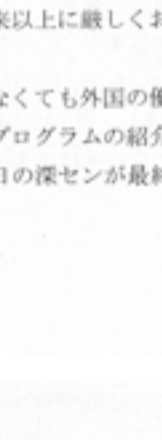


### 「出国命令制度」効果 4千人が出頭

法務省入国管理局によれば昨年12月に導入された出国命令制度を活用して同省に自主的に出頭した不法残留外国人が増えている。昨年11～12月の2ヶ月間で、同省に出頭した不法残留者の数は4150人となり、例年同時期に比べ大幅に増えた。同制度を利用すれば、日本国内で刑事罰などを免じての任意で帰国することなくスムーズな出国が可能となるため、出頭者の増加につながったものとみられる。出頭者のうち7割近く(2868人)を東京入管が占めた。

### 留学生の犯罪対策も話題に～日中治安担当者会談～

中国を訪問中の村田国家公安委員長は周永康公安大臣と会談し、両国間における治安問題などを協議した。この中では、一昨年福岡で起こった元留学生による一家殺害事件や、昨今の留学生犯罪への対処法などについて話題に上ったとされる。両国は治安当局者間の交流を拡大する方向性について合意に達した模様だ。



### 福岡事件判決 1人死刑・1人無期懲役

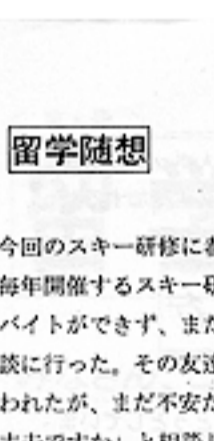
2003年に福岡市で起こった1家4人殺害事件の判決が中国遼寧省の遼陽市中级人民法院で行われ、被告2人のうち主犯格とされた楊春被告に死刑が、共犯者で自首した王亮被告に無期懲役が、それぞれ言い渡された。犯罪者に厳しい中国の裁判事情から鑑みて両名とも極刑との見方が有力だったが、結果的に中国側が事件に対する日本側の反感の大きさを、中国内における反日世論の双方に配慮した形となった。同事件は日本国内で学が中国人留学生の風評悪化をまらし、特に福岡地域では留学生の日常生活にも深刻な影響を与えた。

### 福岡事件

死刑判決の被告が控訴先中国で判決公判が行われた福岡の1家4人殺害事件で死刑判決を受けた元留学生の楊春被告が、遼寧省の中级人民法院に対し控訴の手続きをとった。3審制の日本とは異なる中国は2審制で、日本社会を震撼させた事件の裁きは近く上級審に移されることになる。もう1人の容疑者である王亮被告には無期懲役が言い渡されており、こちらは控訴しておらずこのまま結審する可能性が高い。

### 中国人女子留学生が殺害される

マレーシア国内で17歳の中国人女子留学生が殺害される事件が起き、現地や中国では大きな衝撃が広がっている。この学生は中国西南部の貴州省出身で、マレーシアの私立学院に留学してからわずか1ヶ月目に事件に巻き込まれた。同女子学生は今年11月の夜、タクシーに乗って帰路につく前に同級生に連れ去られるようにみえ、2日後、全裸の遺体で見発見された。マレーシア高等教育部のフアーチャオ副部長は「捜査当局が早急に真相を解明し、犯人を法の裁きにかける」と語った。

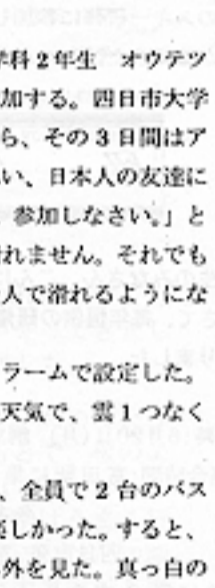


### 外国人労働者受け入れ 解釈を柔軟に

法務大臣の諮問機関である出入国管理政策懇談会が、このほど外国人労働者の受け入れをさらに拡大すべきとの提言をまとめた。わが国は従来、専門的な技術や知識を有する労働者以外の受け入れには一貫して消極的だが、同提言は単純労働者の安易な受け入れなどは慎重な姿勢を貫きつつも、専門・技術職の解釈をより柔軟にする。

### 留学生の帰国就職 実数では上海がトップ

留学生の帰国就職が伸び、上海市で働く海外帰国者の数が5万4千人に達した。これは全国の省・中央直轄都市の中で最も多いという。帰国者が開かれた「上海市慰問留学生全国迎春音楽会」で当局から明らかになった。帰国者の9割以上が海外で修士以上の学位を取得し、7割以上が欧米からの帰国組。留学生帰国者が創設した会社数は市内全域で3千を数え、総投資額は4・2億円(約55億円)を越えた。留学生が増えるにつれて、希望赴任地では、北京が一番人気になることが多いが、実際には経済活動が盛んな上海周辺エリアが多くなっている。



### 中国首相が海外人材受け入れに意欲

中国の温家宝首相は旧暦の正月を目前に控えた6日、人民大会堂で講演し、海外の有能な人材や進んだ技術を幅広く国内に導入し、中国の現代化建設に生かすよう呼びかけた。かねてから「人材による国力強化」を国策に掲げる中国では、海外の先端技術、最先端知識を学ぶ留学生の帰国を奨励しており、首相自ら新年の辞でこの方針に言及したことは、2005年も海外人材の呼び戻し戦略を進めていく決意を内外に表明したものと見られる。

### 中国の国際教育展が26日開幕

今回で10回目を迎える中国留学サービスセンター(中国留学服務中心)主催の国際教育巡回展が今月26日、北京で開幕する。同展には米国、英国、カナダなど世界20の国・地域から300以上の大学・教育機関が出展し、日本からも一部参加予定があるという。過去の開催同様、中国国内の海外留学希望者向けに各国が情報提供を行うことが主要な目的だが、仲介機関による留学詐欺や劣悪な教育機関の紹介が昨今社会問題化していることもあって、サービスセンターを管轄する中国教育部では、出展資格の審査を従来以上に厳しくおこなった模様だ。

また世界各国で中国人への入国ビザ発給が厳しくなっている事情も踏まえ、海外へ出なくても外国の優れた教育カリキュラムを受講できるよう、海外教育機関との間で国内で実施されている教育プログラムの紹介コーナーも設けられる。展覧会は北京を皮切りに、青島、上海、杭州、重慶と巡回し、3月13日の深センが最終日。

### 3年生対象 外国人留学生のための就職ガイダンス開催

日本企業に就職希望のみなさん! 下記の日程で就職ガイダンスを開催します。3年生のみなさんは必ず出席してください。

日時: 6月29日(水) 16:20～ (予備日 6月30日(木) 14:40～)

場所: 121教室 参加資格: 現在3年生の留学生のみなさん

西牧先生より・・・

「大学卒業後の進路について、真剣に考える時期が皆さんにもやってきました。一番大事な時ですので、必ず出席してください。」



### 東京入管内 優良校の中国人交付率は6・7割か

東京入国管理局では2月28日から本日(3月1日)にかけて、今年4月入学生の在留資格認定証明書を出発する各申請者に交付した。いわゆる優良校(不法残留率が3%未満の日本語学校)とされた日本語校の学校が独自に得た情報に基づく、中国人申請者の交付率は軒並み6割を超え、どこまで伸びたかが、また8000円用意しなければならぬから、「どうしようかな」と思い、日本人の友達に相談に行った。その友達は「安いから参加する。自分たちで行くと3・4万円かかるぞ。参加しなさい」と相談したが、まだ不安だった。留学生支援センターの先生にも、「私は初心者でぜんぜん滑れません。それでも大丈夫ですか」と相談したところ、「大丈夫だ。1日目に一生懸命練習すれば、2日目に一人で滑れるようになる。参加してみなさい」と言われ、それでスキー研修に参加することになった。

いよいよ、出発の日がきた。朝寝坊をしないように、2つの携帯電話で6つの時間をアラームで設定した。その甲斐あって遅刻しなかった。いろいろ準備をして四日市駅の集合場所に行った。いい天気、雲一つなく出発日だった。

今回のスキー研修は留学生64人と日本人学生6人が参加した。引率した先生は4人で、全員で2台のバスで長野県のスキー場に向かった。バスの中で映画を見た。トランプをしたりしてとても楽しかった。すると、突然だが、「スキー場だ」と呼び、そのときみんながやっていたことを止めて、窓から外を見た。真っ白の山、緑の森林、そして、リフトが山を空につなぎ、その空と山の境から、スキーする人が降りてきて、まるで、神様が人間の世界に飛んでくるようだった。それを見て皆がその仲間にはいるたいようだった。バスがしばらく走り、1時頃にホテルに着いた。皆が急いで着替えて、スキー場に向かった。スキー場で先生が注意すべきことを言い、解散した。全体の7割が初心者であり、3組に分けて、コーチに指導してもらった。板の履き方を始め、曲がり方などを色々教えてもらった。コーチは熱心に指導してくれ、私たちは一生懸命練習して、一人でもまっすぐ滑れるようになり、曲がれるようになり、どんどん上達していった。夢中になって滑っているうちに集合時間になった。滑っているときには気づかなかったけど、終わってみると疲れていたことに気づいた。ホテルに着き、すぐお風呂に行った。その風呂は露天風呂で「あー、すごい」と思った。雪に囲まれ、青い空、遠く山々など自然ならではの美しさを強く感じた。日本に来て、こんな素晴らしいお風呂はテレビでしか見たことがなく、感動した。時間がたつたようにあつたという感じが、食事の時間がきた。私がレストランに着いたときみんなはすでに食べ始めていた。食べ放題のバイキングで、和食、洋食、中華などたくさんのお料理があった。その中で、私は長野県産の馬刺しと高級牛ステーキがおいしく感じた。私ずかしながら私は、一時間も食べ続けた。この旅行の間、勉強のことやアルバイトのことまで忘れて、自然の美しさを感じた生活が、友達と話をしたりして過ごした。みんなは日本に来て初めてのことで、毎日こんなリラックスした生活が出来たらいいなと思った。食事後は、みんなは、「トランプしよう、トランプしよう」という話になった。

翌日、朝ごはんを食べてからスキー場に向かった。私はリフトに乗って山頂に向かった。まず、鳥さんコースという初心者向けのところで練習して基本的な技を身につけて、上級コースにチャレンジしようと思った。しかし、鳥さんコースといっても、簡単に滑れるわけではなかった。何度も転び、なぜか自分だけのいい姿勢で滑れないのか、どうしたらうまく滑れるようになるのか。もっと頑張ろうと思った。一日かけて中級コースで滑れるようになり、基本的な技を身につけた。そのために私は何回も倒れた。ホテルに戻り、また自然に恵まれたお風呂に入り、痛いお風呂を癒した。

いよいよ、最終日の3日目。今日こそ上級コースに挑戦し、上手に滑りたいと思った。このころ、上級コースのすごい斜面を見るだけで、怖くなった。でも滑らなければいけないし、心の準備をして、斜面に身を投げ、滑り始めた。怖く見えるが全然大丈夫だ。滑りに乗って、風に乗り、大地を切る感じがとても良かった。

### 留学随想

### スキーが好きだ

経済学部経営学科2年生 オウテツ

今回のスキー研修に参加して本当に楽しかった。もし、来年また開催されれば、必ず参加する。四日市大学で毎年開催するスキー研修の募集があったときに、参加するかどうかが少し迷った。なぜなら、その3日間はアルバイトができません。また8000円用意しなければならぬから、「どうしようかな」と思い、日本人の友達に相談に行った。その友達は「安いから参加する。自分たちで行くと3・4万円かかるぞ。参加しなさい」と相談したが、まだ不安だった。留学生支援センターの先生にも、「私は初心者でぜんぜん滑れません。それでも大丈夫ですか」と相談したところ、「大丈夫だ。1日目に一生懸命練習すれば、2日目に一人で滑れるようになる。参加してみなさい」と言われ、それでスキー研修に参加することになった。

いよいよ、出発の日がきた。朝寝坊をしないように、2つの携帯電話で6つの時間をアラームで設定した。その甲斐あって遅刻しなかった。いろいろ準備をして四日市駅の集合場所に行った。いい天気、雲一つなく出発日だった。

今回のスキー研修は留学生64人と日本人学生6人が参加した。引率した先生は4人で、全員で2台のバスで長野県のスキー場に向かった。バスの中で映画を見た。トランプをしたりしてとても楽しかった。すると、突然だが、「スキー場だ」と呼び、そのときみんながやっていたことを止めて、窓から外を見た。真っ白の山、緑の森林、そして、リフトが山を空につなぎ、その空と山の境から、スキーする人が降りてきて、まるで、神様が人間の世界に飛んでくるようだった。それを見て皆がその仲間にはいるたいようだった。バスがしばらく走り、1時頃にホテルに着いた。皆が急いで着替えて、スキー場に向かった。スキー場で先生が注意すべきことを言い、解散した。全体の7割が初心者であり、3組に分けて、コーチに指導してもらった。板の履き方を始め、曲がり方などを色々教えてもらった。コーチは熱心に指導してくれ、私たちは一生懸命練習して、一人でもまっすぐ滑れるようになり、曲がれるようになり、どんどん上達していった。夢中になって滑っているうちに集合時間になった。滑っているときには気づかなかったけど、終わってみると疲れていたことに気づいた。ホテルに着き、すぐお風呂に行った。その風呂は露天風呂で「あー、すごい」と思った。雪に囲まれ、青い空、遠く山々など自然ならではの美しさを強く感じた。日本に来て、こんな素晴らしいお風呂はテレビでしか見たことがなく、感動した。時間がたつたようにあつたという感じが、食事の時間がきた。私がレストランに着いたときみんなはすでに食べ始めていた。食べ放題のバイキングで、和食、洋食、中華などたくさんのお料理があった。その中で、私は長野県産の馬刺しと高級牛ステーキがおいしく感じた。私ずかしながら私は、一時間も食べ続けた。この旅行の間、勉強のことやアルバイトのことまで忘れて、自然の美しさを感じた生活が、友達と話をしたりして過ごした。みんなは日本に来て初めてのことで、毎日こんなリラックスした生活が出来たらいいなと思った。食事後は、みんなは、「トランプしよう、トランプしよう」という話になった。

翌日、朝ごはんを食べてからスキー場に向かった。私はリフトに乗って山頂に向かった。まず、鳥さんコースという初心者向けのところで練習して基本的な技を身につけて、上級コースにチャレンジしようと思った。しかし、鳥さんコースといっても、簡単に滑れるわけではなかった。何度も転び、なぜか自分だけのいい姿勢で滑れないのか、どうしたらうまく滑れるようになるのか。もっと頑張ろうと思った。一日かけて中級コースで滑れるようになり、基本的な技を身につけた。そのために私は何回も倒れた。ホテルに戻り、また自然に恵まれたお風呂に入り、痛いお風呂を癒した。

いよいよ、最終日の3日目。今日こそ上級コースに挑戦し、上手に滑りたいと思った。このころ、上級コースのすごい斜面を見るだけで、怖くなった。でも滑らなければいけないし、心の準備をして、斜面に身を投げ、滑り始めた。怖く見えるが全然大丈夫だ。滑りに乗って、風に乗り、大地を切る感じがとても良かった。

今回のスキー研修に参加して本当に楽しかった。リラックスできただけでなく、日本に一人ぽっちじゃないとわかってきた。ちゃんと、悩みを聞いてくれる人もいます。もし、来年また開催されれば、必ず参加するだろう。

## 留学生研修旅行

留学生のみなさん、こんにちは。留学生支援センターです。新しい学年になって1ヶ月がたとうとしていきます。さて、毎年恒例の研修旅行の季節になりました。今年は、現在愛知県で行われている万博「愛・地球博」に決まりました。

日時: 6月20日(月) 創立記念日のため大学は休みです  
集合時間: 富田駅に集合する人・・・7:30集合  
名古屋発 6:51急行  
四日市発 7:14準急、7:24急行  
大学に集合する人・・・7:50集合

### スケジュール

富田駅 7:30集合	四日市大学 7:50 8:00出発	大山田PA(休憩) 8:20 8:35	愛知万博「愛・地球博」 10:00 17:00出発
	大山田PA(休憩) 18:20 18:35	四日市大学 19:00ごろ到着	富田駅

※ 昼食は、「愛・地球博」の中で各自で済ましてください。  
※ 「愛・地球博」での集合時間は16:50(時間厳守!)

留学生支援センターからお願い  
必ず集合時間は守ってください。  
愛・地球博の会場へは、コンビニなどの弁当、ペットボトルの持ち込みは禁止されています。

### 四日市大学留学生教育助成寄付金

ご寄付ありがとうございました。  
平成17年 四日市大学 留学生教育助成金へ多くの方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

山崎 正人、 岩崎 祐子、 都島 功、 加納 光、 佐藤 信行、  
デイビット・ダイクス、 川村 幸夫

(平成17年1月1日から平成17年5月10日まで)